

藤枝市長 北村 正平 様

令和6年度の予算編成に向けて

提 言 書

藤枝市議会・会派

藤のまち未来

はじめに

安全・安心で、だれもが暮らしやすいと感じるまち「ふじえだ」。

子どもからお年寄りまで、すべての市民が夢と希望を持ち、豊かな生活を送れるまち「ふじえだ」。

そんなまちづくりを目指し、行政と議会は両輪となって市政運営に取り組んでいます。

私たちの会派『藤のまち未来』7名の議員は、市内全域から選出された代表であり、それぞれの地域で暮らす市民のみなさまの生活に寄り添いながら、より良い地域づくりのために日々努力しています。

それゆえに今回の会派提言は、先に提出しました決算常任委員会や3常任委員会の提言に比べ、より地域住民に密着した内容になっています。

当局におかれましては、提言内容を参酌され、来年度の施策に反映されますよう要望するとともに、地域住民のための暮らしやすい環境づくりに向け、一層のご尽力をお願いし、提言書の提出といたします。

令和5年10月23日

藤枝市議会・会派 藤のまち未来

1 人口及び世帯が急増する高洲南小学校区に、第2の地区交流センターの新設を図られたい。

宅地化著しい高洲地区は現在、人口約2万5千人、世帯数も約1万を超えており、文化、教育、防災、地域コミュニティ等の拠点をなす高洲地区交流センターの利用状況は極めて多く限界にきている。また、思うように利用できない住民や団体、グループ等からは、施設の拡大又は新たな地区交流センター建設の要望が出ている。

こうした状況を踏まえ、高洲南小学校区に第2の交流センター設置を図られたい。

2 交通量が激増している高洲和田線の代替え路線として小川島田幹線の延伸接続を県に強く要望され、南部地区の渋滞緩和を図られたい。

大井川・焼津・藤枝スマートインターチェンジにより、県道・高洲和田線の交通量は大幅に増え渋滞が慢性化している。また、通勤トラブルや交通安全面からみても懸念の多い状況にある。すでに焼津市側の区間工事はほぼ完成し、残すところは本市区間のみとなっているが、この区間については、県道・高洲和田線の代替え路線となる小川島田幹線の延伸・接続を早急に施工するよう県に強く要望されたい。

3 農山村への移住・定住対策（入居期限付集合住宅、宅地開発等）の強化を図られたい。

(1)「空き家バンク」利用希望者が、空き家登録物件の不足で他市町へ流失している現状を改めるため、入居期限付き（例：子どもが15歳迄、最長10年等）木造集合住宅を中山間地に建設され、空き家や宅地が利用できるまでの受け入れ対策を図られたい。

(2)「人・農地プラン〈地域計画〉」の進捗と併行し、農地を手放したい地権者の意向を叶え、かつ、農地の集約・集積により未利用となる農地の有効利用を図るため、農地から宅地への転換政策を講じられ、移住・定住希望者の受け皿となる宅地の開発、確保を図られたい。

4 小中学生のタブレットが重くて機能も低いため、**軽量・高性能の新機種への更新を**図られたい。

現在市内の小中学生が使用しているタブレットは、大変重く、フリーズすることも多く、授業で使用するにはとても使い勝手が悪い状態と言える。焼津市・島田市などはクロームブックを使用しており、軽量で動きも早く大変使いやすいとのことである。市外からの異動により、本市のタブレットに困惑する教員も多いと聞いている。このような状況を改善するため、タブレットの軽量・高性能機種への更新を図られたい。

5 教員の負担軽減のため、支援員とスクールサポートスタッフの増員を図られたい。

教員の多忙化解消に向けて様々な取り組みが行われているが、いまだ解決には程遠く、人材不足の一因ともなっている。今年度は静岡県全体では、当初から教員定数が約80名も欠員の状態でスタートしており、人材不足と現場の負担の大きさは深刻と言える。そこで、現場の負担軽減のために、支援員とスクールサポートスタッフの大幅増員を図られたい。

6 歩行者の交通安全確保のため、各地域から要望のある押しボタン式信号の設置について、県に強く要望を行われたい。

本市では交通安全日本一をかかげ、日々尽力いただいているが、歩行者が安心して道路を渡ることができるよう、信号のない横断歩道に、押しボタン式信号の設置を促進されるよう、県に強く働きかけをされたい。

7 障がい児者のショートステイとグループホームの充実化、さらなる家族への支援制度を図られたい。

ショートステイは、予約が取りにくく希望日に預けられないご家族の声が多い。高齢化してきた親御さんの心身的負担軽減のためにも拡大を図られたい。また、親亡き後のグループホームが必要であると考える。

8 市立総合病院への交通渋滞解消と、青島北小学校周辺道路のゾーン 30 指定を図られたい。

感染症の脅威がやわらぎ、通院患者数は増加に転じているが、一方で駿河台のバス通りに渋滞が発生している。また、この混雑を避けようと抜け道を猛スピードで走る車もあり危険である。このことから、病院敷地内の駐車スペースを最大限に拡大・確保されるとともに、青島北小学校周辺道路をゾーン 30 区域に指定されたい。

9 葉梨街道の旧押切橋と堺橋に歩行者・自転車専用通路を新設されたい。

葉梨地区の玄関口である旧押切橋と堺橋の現状は、自転車通学の学生や買い物に行く歩行者などが対面通行できないほど通路が狭く危険であり、接触事故も過去に数件あったことから早急に歩行者・自転車専用通路の設置を求めたい。

10 市境の道路、河川等の環境整備に遅れが目立つので、隣接市との協議を進め早急に改善を図られたい。

例年、市内全地区の自治会・町内会から、道路、河川等における環境整備の要望が出され、順次その改善・改修に取り組まれているところではあるが、とりわけ市境部分の整備は遅れが目立つため、早急に隣接市と協議を進め改善策を講じられたい。

11 市全体での脱炭素化を図る施策を、事業者と連携しつつ全庁あげて推進されたい。

ゼロカーボンシティを宣言する本市として、第 2 次藤枝市地球温暖化対策の目標達成のために、適切なマイルストーン設定と厳格な進捗管理に基づき、環境部門のみならず産業振興部門、農林部門、施設管理部門など全庁体制をもって気候変動に適応するグリーン・トランスフォーメーション（GX）施策を推進されたい。

以上